

DIYで簡単！ 雨水を利用した屋根散水システム

～屋根冷却による2階室内温度上昇の低減～

SFA



詳しくは次ページをご覧ください

SFA Japan (株)は本資料のいかなる誤記脱漏、あるいは本資料の使用によりもたらされるあらゆる結果、不利益、損失、危険性に対して一切の責任を負うことはありません。

DIYで簡単！ 雨水を利用した屋根散水システム

～屋根冷却による2階室内温度上昇の低減～



SFAポンプとホームセンターで用意した塩ビパイプ等があれば、DIYで誰でも簡単に作れます。
雨水を利用するから、エコロジー & エコノミー！

① 2階のベランダに雨水タンクを設置し、“雨とい”に集水継手を介して専用ホースでつなぎます。
(多くの自治体では雨水タンクの設置する方に補助金を助成しています)

② 雨水タンクの蛇口を開き、溜めた雨水をSFAポンプ“サニシャワー”に流し込みます。
サニシャワーから圧送された水は吐出管(塩ビパイプ)を通して屋根の上で撒かれ、屋根を冷やします。
(冬は屋根の融雪に利用できます。また吐出管の方向を変えれば、1階の庭への自動散水も可能です)

- ・ 雨水タンクの水は塩ビパイプ(40mm)を介してSFAポンプ“サニシャワー”につなぎます。
- ・ 雨水タンクの蛇口の開度を調整し、ポンプが1分間に1回、10秒程度の断続的な運転となるようにします。
この時の蛇口からの水量は毎分0.7リットル程度のごく少量です。ポンプが連続的に運転している状態にならないようにしてください。
- ・ サニシャワーの揚程は3メートル程度です。
- ・ 屋根の上にあがる吐出用の塩ビパイプは20mm(VP20)を使用し、その先端にスプレーノズル(共立イリゲート社製SN-10H)をTS継手給水栓用ソケットとステンブッシング20A*10Aを介して取り付けると、効率よく散水できます。
- ・ 吐出用の塩ビパイプは倒れないように、結束バンドなどで建物にしっかりと固定してください。
- ・ 散水を中止するときは、雨水タンクの蛇口を締めた後、ポンプのコンセントを抜いて電源を切ってください。
- ・ ポンプには水がかからないようにしてください。

■水の流れ■

屋根に降った雨が、 ⇒ 雨水タンクに溜り ⇒ SFAポンプ・サニシャワーで圧送し ⇒ 屋根に散水
⇒ 屋根が冷えて2階の暑さが緩和されます。

ご不明点はお気軽にお問い合わせ下さい。

E-mail; sales@sfa-japan.jp